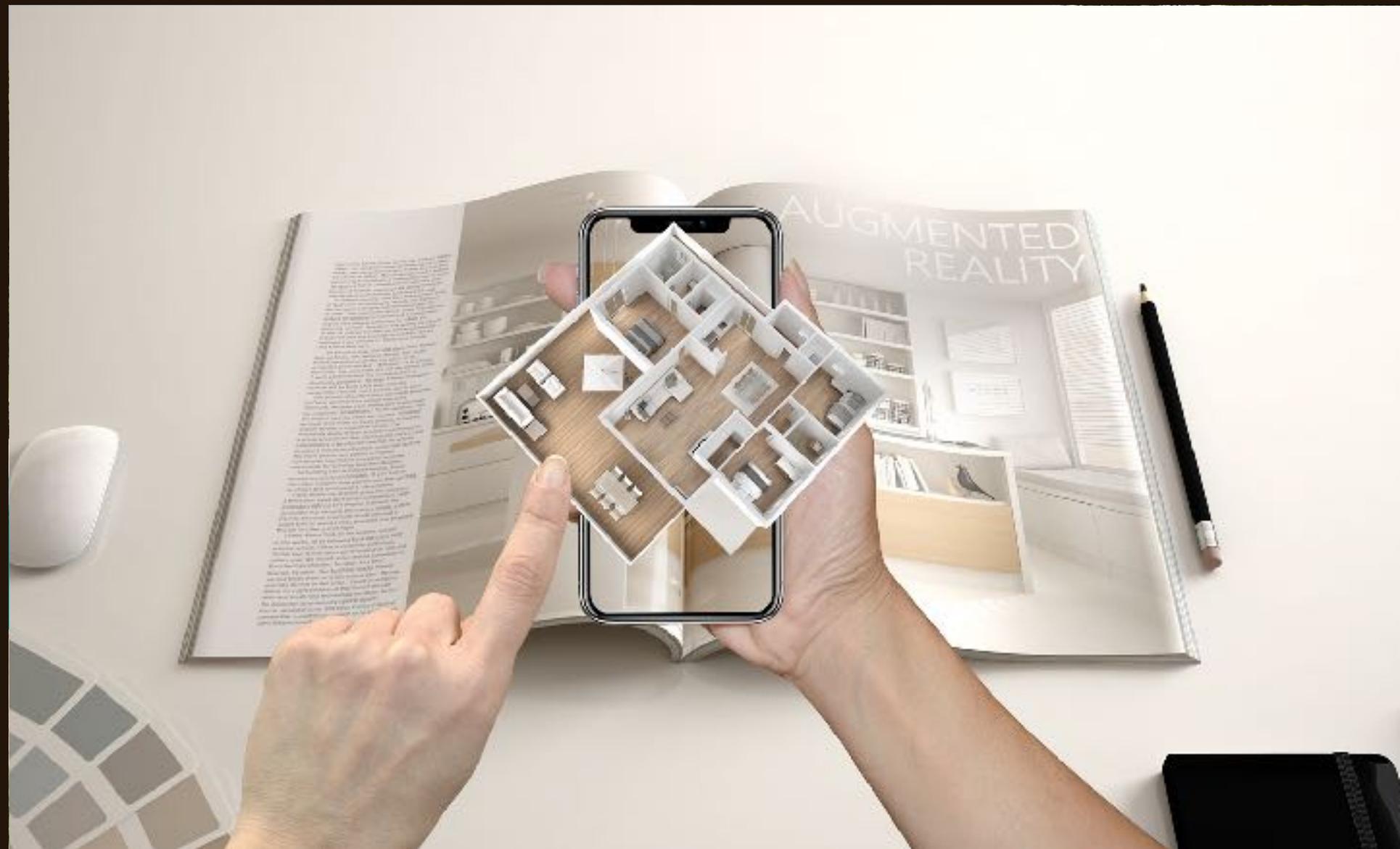


第1部

基礎編



Basic Philosophy



第1章

The Old and the New Wisdom

300年前なのに最先端！ 琉球風水と脳科学

古代中国哲学を源流とする「風水思想」は、現代の脳科学からも解読できます。琉球王国で300年前に使われていた琉球風水の技術を、古典と現代科学の考えから解説します。

「風水は様々な流派があり、何が本当かわからない」と思っている方も多いと思います。確かに、流派によって何を吉とするか違います。しかし、これらの違いは表面的なもので、大きな問題ではありません。ほとんどの風水師は、同じ原理原則を支持しているからです。

風水の良い住宅は、快適で美しいだけでなく、自然と人が調和した暮らしを営むことができます。その根拠は、自然界の原理原則に従って住まいを作るから。風水は住宅の東洋医学であり、料理に例えると薬膳料理。与えられた環境を見つめ、不足を補い、余分を取り除いて、全体的な調和をとることを目指しています。風水空間デザインは、風水的自然観を軸に、風水鑑定結果に基づいて、環境と住宅が調和する住宅を設計します。

風水の効果は、現代の脳科学で解説できることもたくさんあります。風水の良い環境とは、脳が無意識レベルで喜ぶ空間だからです。感覚的にポジティブな情報を受け取るだけで、人は「幸せ」を感じることが、現代の脳科学でわかっています。琉球風水は五感で「心地よい」と感じる空間を、再現性高く設計できます。本章では、風水の基本的な考え方と鑑定法を解説します。ワークシートも準備しました。風水的自然観の考え方を学び、あなたの家の風水鑑定もお楽しみ下さい。



History

風水概論

風水とは、何なのか？

風水と風水伝来の歴史

【BC4000年以前 風水の起源】

墓の中に、左に龍右に白虎のシンボルがあった。

【BC2700年頃 方位磁石の発明】

黄河一体の支配者、黄帝（こうてい）は、九天玄女（きゅうてんげんにょ）（中国神話の天女）から方位磁石の作り方を教わった。

【AC3世紀頃（晋）最初の風水実践書】

郭璞（かくはく）の著書『葬経』（そうきょう）に、初めて「風水」という専門用語が現れる。形勢法や四神相応についての記載があった。

【7世紀～9世紀（随・唐）風水の日本伝来】

602年百済の僧、観勒より風水の書がもたらされた。その後、遣隋使・遣唐使により、教養の一つとして日本に風水が持ち帰られる。9世紀に遣唐使廃止。日本風水は独自に発展。

【9世紀～13世紀（唐・宋）風水の体系化】

『葬経』の流行と羅盤の発明により、風水は理論まで高められた。2つの流派が誕生し発展した。

◆形勢派（江西学派）

晩唐（9世紀）に江西（こうせい）省で誕生。古典的な龍脈の理論を受け継ぎ、山の形、水の流れなどの地勢を重視する風水を唱えた。

◆方位派（福建学派）

晩唐（9世紀）に羅盤が発明された。羅盤は南宋時代（12～13世紀）普及。福建省中心に発展。

【14世紀（明・清）以降 両派の融合】

形勢派も羅盤を使い、方位派も形勢法を使うようになる。この時期に風水の発展は頂点に達した。

【17～19世紀（清）琉球から福建へ留学】

王府は役人を福建へ風水留学させ、最新の風水術を持ち帰った。風水は国家政策として使われた。

【18世紀（清）中国から日本へ書物が入る】

鎖国であったが江戸中期以降、中国の書物が入り「家相書」が普及。家宅の吉凶判断がなされた。

【20世紀 毛沢東の文化大革命】

思想統制により、風水師も虐殺の対象に。香港や台湾へ逃げのび、風水の技術も輸出された。

風水とは「人間は自然の一部である」という考え方を建築で表現するためのものです。古代中国では、人間は自然の一部なので、自然界で起きる出来事は、人にも同じように起こると考えました。これを「天人合一思想」と言います。

古代の人々は、太陽の運行の秩序を観察して、自然界の法則を読み解き、宇宙全体の構造をつくる要素を見つけました。「陰陽」「五行」「八卦」です。この哲学が風水理論の基礎となり、住宅の吉凶を判断する基本的かつ最高の規則になりました。建築を自然と調和させることで、物理的な安全と精神的な安定を求めたのが風水です。

一体、何が正解なのか？

風水判断の違いが何から生まれるのでしょうか。それは、原理原則の解釈の違いです。どう解釈するかは、判断する人の美学や哲学に影響されます。風水判断で大切なことは「考え方の軸」を持つこと。歴史に学び、基本的な考え方を理解できれば、自分の判断基準を持つことができます。

本章では、風水の基本的な考え方を解説します。これらの考え方は、風水鑑定法というツールとなり、住宅設計に応用することができます。風水空間デザインで住宅の設計をする時に、実際に使っている4つの鑑定法を紹介します。1) 氣の流れの鑑定、2) 陰陽鑑定、3) 個別運勢方位鑑定、4) 八方位鑑定です。

風水の長い歴史の中で「形勢」と「方位」の2大流派が生まれました。どちらかが正しいということではありません。それぞれ違う役割を担い、明・清の時代には両者が結合して、風水の発展は頂点に達しました。清の時代に最新の風水術を持ち帰った琉球風水も、両方の鑑定法を使います。「形勢法」の鑑定結果を優先するのが特徴です。



Lily's Eyes 新技術を生み出すのは思想の軸

「風水は何が本当かわからない…」そのお気持ち、とってもよくわかります。学校のテストや試験には必ず一つの答えがあります。だから、風水も「一つの問いに対し、一つの正しい答えがある」そう思い込んでいませんか。風水の世界では10の質問があれば、10通りの答えがあります。

なぜ、このようなことが起きるのか。風水は、自然界を観察し、抽象化して、建築に当てはめるからです。解釈の仕方は人それぞれ違って当たり前。ものごとを抽象化して本質を見抜き、その本質を別の領域に応用する力が求められます。様々な風水がある中で、何を信じればいいのかと言うのなら、信じていいのは「自分」だけ。自分自身が方向性を決めるコンパスになること。そのために必要なのが「思想の軸」となる風水哲学です。

中国人の建築史研究者、何氏は、風水について次のように述べています。「（風水の）核心は、いかにして人間が自然界のなかで生存に最も適した位置を選び取るか、というところにあり、それによって大自然の庇護と恩寵とを獲得しようとするのである」と（何 1995）。この風水の本質を、亜熱帯気候という条件下で、見事に体現した

のが琉球風水です。国民の安心安全な暮らしを実現するため、沖縄の厳しい自然との調和を試みた痕跡を、いたるところに見ることができます。

琉球風水を建築・インテリアで表現するという事は、羅盤を使った表面的なテクニックだけを設計に取り入れることではありません。自然と調和する思想の軸を自分の中に持ち、建築・インテリア設計を通して体現することです。根っこの部分の思想や哲学が育てば、枝葉の部分のテクニックは無数に生み出すことができるようになります。本書の後半で紹介する、建築・インテリア設計の方法論は、思想の軸があることではじめて使える術となります。自然と調和する風水思想が体現された王朝時代の風水術を、本質的に理解できるよう、本書が少しでもお役立てれば幸いです。

宇宙の本質

答えを他人に求めるな。自分の中に、自分の羅針盤を持てば、答えは自分で導き出せる

Public Space

風水空間デザイン鑑定法4種

I 形勢派風水（巒頭）

琉球王朝時代の風水師は、琉球という島を一体の龍ととらえ、島全体の自然環境を神聖なる一つの生き物として見ていました。その生命を最大限に生かすための手法が形勢派の風水術です。住宅をみる時も、家全体を一つの生命体ととらえ、生き生きと生命力あふれる環境を作ることを目指します。風水空間デザインで形勢を見る時は、シンプルに2つのポイントをチェックするため2種類の鑑定図面を作ります。氣の流れを調える「氣の流れの鑑定」と陰陽の調和を取る「陰陽鑑定」です。

優先順位1 氣の流れの鑑定

空間をつらぬく氣の流れは、周辺環境の形によって決まります。住宅の図面上で、5つの氣の流れが見える化することで、なんとなく心地悪いと感じていた原因がわかります。心地よい氣の流れを描くことができれば、守られた安心感に包まれた空間を再現性高く設計できます。

できること：安心で心地よい空間ができる
メリット：脳が無意識に喜ぶ空間ができる

得意：アウトライン設計で住宅の配置と向きを決める、間取り設計、家具の配置と向きを決める
不得意：色や柄の具体的なデザイン



優先順位2 陰陽鑑定

宇宙の万物を2つに分ける考え方で、プロジェクトスタート時に、全体の方向性を決めるのに役立ちます。また、すでに決まっているもの、変えられないものを生かしながら、全体の調和を取ることができます。住む人の感情を主役に、得たい感情が得られる住環境を作ることができます。

できること：感情に合わせた方向性が決められる
メリット：心が調和する空間ができる

得意：アウトライン設計のゾーニング、インテリアデザインの全体的な方向性を出す
不得意：具体的な間取りや、色、柄を決める

II 方位派風水（理気）

中国での風水発展の歴史の流れに伴い、王朝時代の風水師が使った方位鑑定も進化していきました。19世紀には、八宅法、九宮法、三元九運飛星法（フライングスター）といった方位鑑定により、集落や住宅の風水判断を行った記録が残っています。これらは、高度な知識と技術を必要とする鑑定法です。本書では、新築住宅の設計に比較的取り入れやすい、八宅法の個人の運勢から見る「個別運勢方位鑑定」と、現代住宅でニーズの高い五行と八卦の哲学を住まいに取り入れる「八方位鑑定」を紹介します。



優先順位3 個別運勢方位鑑定

生まれた時の天体の配置によって、私たちは天からギフトを与えられています。自分にとって良い氣を受ける方位は、生年月日により決まっています。家族それぞれの吉方位がわかると、間取り設計で部屋の配置を絞り込む時や、家具の向きを決める時に役立ちます。

できること：良い氣を受ける間取りが決められる
メリット：部屋にいただけで良い氣が受けられる

得意：間取り設計で具体的な部屋の配置を絞り込む、家具の配置と向きを決める

不得意：全体的間取り設計、インテリアデザイン

それぞれの鑑定法から導き出される結果は、異なることがあります。全ての鑑定結果を踏まえつつ、総合的な視点で判断します。風水鑑定には優先順位があり、まず形勢が良いことが第一条件です。形勢が良いことを前提に、方位を見るのが基本的な風水鑑定のステップです。鑑定法には、それぞれ得意、不得意があります。判断する目的に従って適切な鑑定法を選ぶのが、プロの使い方です。

優先順位4 八方位鑑定

王朝時代の風水術に、インテリアの八方位鑑定の歴史を見ることはできませんが、現代住宅のニーズに合わせて取り入れています。こちらは、インテリアのデザインをする時に楽しめる鑑定法です。五行、八卦の哲学を理解して、インテリアで表現できるようになると、内側から自分を変えることができます。

できること：運気を意識した空間ができる
メリット：夢実現に必要な情報がいつも得られる

得意：インテリアデザインのコンセプトを作る、具体的な色や柄を決める
不得意：間取り設計、家具の配置や向きを決める



Dragon's Lair

1-1 【氣の流れの鑑定】 考え方

宇宙の原理原則「四神相応」

四神相応の基本形



背後を亀の甲羅のような固いもので守られ、左には躍動する龍、右にはいつでも飛び出せるように控えた白虎が守る。前方は鳳凰が飛び立てるような開けた空間をイメージ

肘掛け椅子のイメージ



背後が高く安定していることは、強い後ろ盾があることを象徴している。左右が守られ、前方が開けているのが基本

風水空間デザインで最も優先順位の高い鑑定法「氣の流れの鑑定」は、四神相応の考え方をベースにしています。四神相応の地とは、パワースポットを作り出す形勢派の基本構造。風水の専門用語でパワースポットを龍穴とよびます。龍穴の四方を守る神獣を「四神」と呼びます。

四神を王座の肘掛け椅子に例える時、人が座る場所の中心部分を龍穴に見立てます。背後が玄武、前方が朱雀、左腕が青龍、右腕が白虎です。四神相応の考え方は入れ子構造です。王城、集落、住宅、家具レイアウト、神棚や仏壇の最適な配置や向きを判断できます。

氣の流れは読み取れる

四神相応の地理的条件とは、龍穴の背後に氣の発生源となる高い山（玄武）がある。左腕に青龍砂という生氣旺盛な山脈が流れ、右腕に白虎砂というなだらかな山脈が連なる。前方（朱雀）に、低くて安定感のある案山と、その後ろに案山より大きくて勢いのある朝山がある。その内側に明堂水という川や湖、海などの水がある地形です。この四神の内側に龍穴が生じるとされています。

沖縄で最も大きなスケールの四神相応の地は、首里城です。玄武は北、青龍は東、朱雀は南、白虎は西が理想ですが、四神の位置は地勢から見るもの。首里城の背後にある玄武「弁ヶ嶽」は東にあり、方角ではなく地勢から四神を看ています。

四神の内側に流れ込んだ氣は、四神に守られ、風によって散らされることがありません。氣は水と出会って留まり、少しずつ流れ出ていくことが吉とされています。氣が強い風に散らされたり、一気に流れ出ることがないように、人の手で自然の地形に欠けているところを補います。この「考え方」を現代住宅でも生かすことができるのです。



台湾 金瓜石勸濟堂

Lily's Eyes 生活の質を高め人生の質を高める

自然の一部としての自分の存在を自然の中に置き、地球と一体化するイメージで大地を見つめてきたのが形勢派風水です。形勢派は「龍象徴主義」の別名を持ちます。龍穴を構成する4大要素は「龍」「穴」「砂」「水」。これらを解読するためのガイドラインがあります。

「龍」は山や大地を意味し、地勢の起伏のこと。品性や地位を左右します。「穴」は靈氣が集まる場所。地勢の起伏やくねりのどこの場所に位置するかを見て、立身出世を左右します。「砂」は龍穴を抱く周辺環境。水、空気、山、建物などが要素で健康を左右します。「水」は龍の血脈であり財を意味します。流通と関連し、川や道路が構成要素。貧富を左右します。

形勢法は、氣の流れを重視します。氣が流れるスピードが速すぎると凶、停滞しても凶。穏やかなそよ風や、小川のせせらぎのごとく、ゆるやかに心地よい氣の流れを吉とします。方位の吉凶は聞いたことがあっても、形勢の吉凶は馴染みがない方も多いと思います。王朝時代の鑑定報告書にも、財運についての記載が登場します。形勢法でも方位鑑定でも、しっかりチェックしています。

形勢法は「水の流れ方」から財運を看ます。門の位置や道路の形状が直線的だと、氣が一気に流出します。そのような環境的、建築的な構造に対し、財運を漏らさないよう曲線的なラインに改修するよう指摘しています。

風水に従って環境を調えるのは、迷信的に見えるかもしれませんが、財運を良くしたいと形勢法で環境を調べれば、現実レベルで心地よい空間ができます。すると、そこにいてだけでポジティブなエネルギーを得ることができます。

現代の日本で生まれ育った方のほとんどは、四神相応の考え方が現代の住まいに応用できるなど、想像すらつかないかもしれません。しかし、設計するタイミングであれば、四神に守られる環境をつくることは意外と簡単です。生活の質を高めるツールとして、是非お役立て下さい。

宇宙の本質

周辺環境の氣の流れと氣の質は、あなたの人生全体の流れと人生の質に作用する

Two Axes

1-2 【氣の流れの鑑定】 2つの軸



形勢法とはマトリョーシカ思考法

風水鑑定法の「形勢」の文字は、入れ子構造を表現しています。ロシアのマトリョーシカ人形のように、同じ要素が幾重にも重なる多重構造は形勢法の特徴です。「形」とは近くに見える山の形のこと。「勢」は遠くに見える雄大な山の峰々の起伏のことです。風水を見る順番は、勢を見て形を見る。つまり、全体から部分、大から小へと形勢を観察します。住宅の風水を見る時も、住宅の周辺環境→住宅の間取り→各部屋の家具レイアウトへと、大から小へ段階的に視点を移します。

形勢法で住宅を見る時は、外側と内側の2つのアプローチに大別されます。外側からアプローチ

する「アウトサイド形勢」は、周辺の自然と建築の調和を目指します。「光、風、水」といった自然の氣の流れを調えます。一方、内側からアプローチする「インサイド形勢」は人と建築の調和を目指します。室内環境の「生活動線、視線」など人工的な氣の流れを調える風水術です。

間取り設計がスムーズにいかない原因の一つは、全体と部分が行き来できていないこと。建築的な外側視点に偏って間取りが作られ、インテリア的な内側視点から逆算されていない時です。アウトサイド形勢とインサイド形勢の両方が良いことが、住み心地の良い家づくりのポイントです。

アウトサイド形勢とインサイド形勢の特徴

インテリアの家具配置、住宅の間取り、集落、王城の風水は入れ子構造で、形勢法の同じ考え方で設計できます。スケールが大きくなるほど風水術の難易度が上がります。住宅設計の中に風水を入れるためには、風水術に加え、対象となる部分の設計デザインの知識が必要です。家を建てる時は、施主であなたの知識が豊富であれば、建築士やインテリアコーディネーターに風水の要望を明確に伝えることができます。アウトサイド形勢とインサイド形勢の範囲を把握しておく、誰に何を伝えればよいかわかります。

アウトサイド形勢

氣の流れ：光、風、水（周辺の自然）

目指すもの：自然と建築の調和

設計対象：建築アウトライン、ゾーニング

視点：全体的・外側

領域：建築

専門家：建築士

専門業者：建築設計会社、ハウスメーカー、工務店

インサイド形勢

氣の流れ：生活動線、視線の流れ（人の動き）

目指すもの：人と建築の調和

設計対象：間取り設計、家具レイアウト設計

視点：主に部分的・内側

領域：建築・インテリア

専門家：建築士・インテリアコーディネーター

専門業者：建築設計会社、ハウスメーカー、工務店、及び、内装設計施工会社、インテリア業



Flow of Energy

1-3 【氣の流れの鑑定】 実践

住宅の心地よさがわかる鑑定法

自然の氣の流れ



「光」「風」「水」の氣の流れを見て、自然と建築を調和させることで、自然の恵みを受け取る心地よい空間ができる

人工的な氣の流れ



「生活動線」「視線」の氣の流れを意識することで、人と建築が調和し、機能的で心が潤う住み心地の良い空間ができる

風水空間デザインの氣の流れの鑑定では、5つの氣の流れをみていきます。氣の流れには、大別して「自然の氣」と「人工的な氣」の2種類があります。自然の氣とは「光、風、水」の流れで、人工的な氣とは「生活動線、視線」の流れのことです。5つの氣の流れが調うと、生活の質の高い空間ができあがります。

光、風、水の自然の氣の流れを看することで、住宅が周辺環境と調和しているかを読み取ることができます。生活動線、視線の人工的な氣の流れを看することで、暮らし心地の良さを読み取ることができます。

氣の流れを見える化する

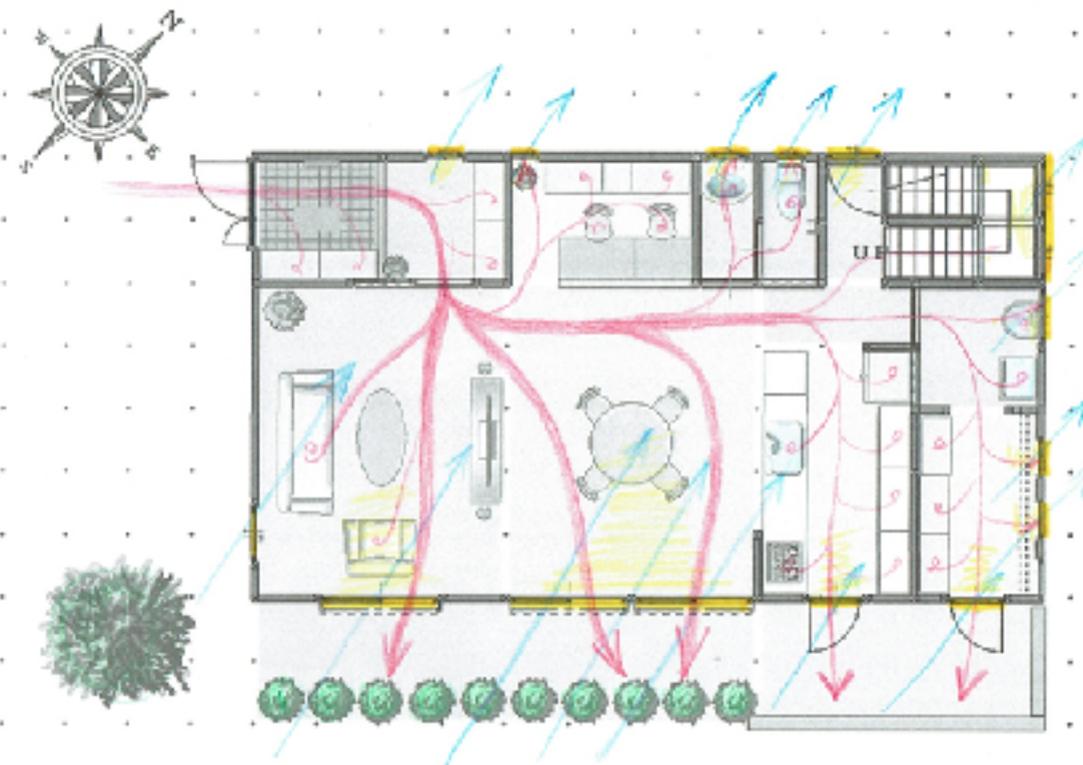
ここでは「光、風、水」の3つの自然の氣の流れの図面への描きこみ方を解説します。自然の氣は方角から影響を受けます。なぜなら、自然の氣と調和することは、宇宙と調和することなので、太陽の運行と季節風に関係しているからです。

光は窓から入ってきます。図面の窓の部分に光をイメージして黄色で塗ります。光が室内まで入り込む部分まで黄色で塗ると、室内の日当たりをイメージできます。

風の流れは、夏の心地よい南風が、どこから入ってどこから抜けていくかを描きます。涼しさをイメージするため青色を使っています。

水の流れは、空気に含まれる水、つまり湿気を含んだ空気の流れを看ています。トイレ、浴槽、シンクなど「水が溜まり流れ出るところ」を水色で塗りつぶします。湿度の高い空気の流れは風の流れとセット。水周りが風下にあると湿気を含んだ空気が玄関やLDに流れず外に排出されます。

「生活動線、視線」の人工的な氣の流れの読み取り方は、第3章で詳しく解説します。



Worksheet 自然の氣の流れの鑑定体験【全段階共通】

自然の氣の流れを図面を描き、感じたことを言葉にしてみましょう。

①【現状分析】自然の氣の流れを見て、どう感じましたか? 「光」「風」「水」のそれぞれの流れについて、感じたことを書き出してみましょう。

②【課題の明確化】「自然と住宅が調和していない」と感じた部分があれば、その「原因」を考えてみましょう。

③【改善の方向性】心地よい空間に改善するとしたら、どんなことができそうですか? 空間を整える目的と改善の方向性を考えましょう。

Yin-Yang

2-1 【陰陽鑑定】 考え方

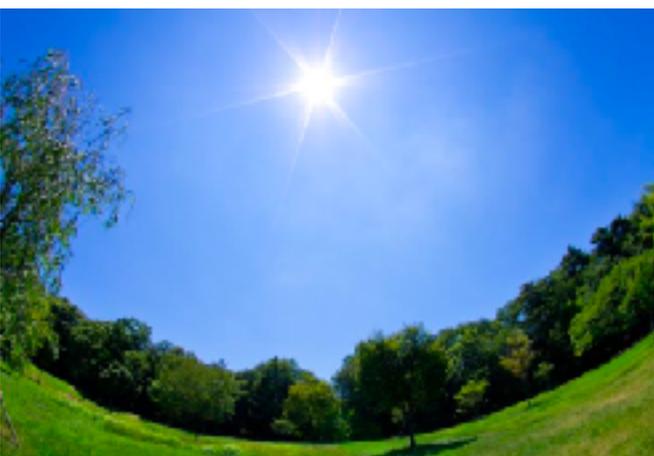
心が調和する家づくりの判断基準

陰



北側（北西・北・北東）は日当たり穏やかな「陰の方位」。寝室、水周りなど陰の活動を行うプライベート空間と相性よし。

陽



南側（南東・南・南西）は明るく活気のある「陽の方位」。玄関、LDなど陽の活動を行うパブリック空間と相性よし。

形勢を読み取る時は「氣の流れを調える」のと「陰陽の調和を取る」のはワンセット。しかし、分析する視点が違うため、鑑定図面を分けています。陰陽鑑定は、古代中国哲学の「陰陽論」がベースです。陰陽論は、宇宙の全ての物質や現象は、陰と陽でつくられていると考えます。

陰と陽は相対する性質を持ち、優劣はありません。どちらか一方が欠けると存在できなくなります。対立している関係ではなく、互いに補い合う関係です。男・女、+・-、天・地、暖・寒、南・北、明・暗、太陽・月、表・裏、肉体・精神などが、例としてわかりやすいでしょう。

最適な環境を見極める指針

形勢派風水は、山の向きや、家の向きを陰陽の視点から見てきました。山は、南側の山面を陽、北側の山面を陰。住宅は、正面が陽、背面が陰。山の陽面と家の陰面を向かい合わせにすることで、背後を山に守られ、快適な日当たりと通風が得られる基準を作りました（何 1995）。

琉球王府発行の『林政八書』の中には、陰陽論に基づいた山林の管理方法を見ることが出来ます。国内で木材の安定的な生産を可能にするため、山林政策の方針や具体的な方法論が書かれています。日当たりの状況や、土地の傾斜の角度、湿気の状態を陰陽で説明しています。陰陽の調和の取れた場所「陰陽和生之地」が、木の生育に適した最上の地としています（仲間 2017）。

第2章で解説する琉球民家の中でも、突出して風水を感じるのが陰陽バランスの良さです。自然と調和して暮らしていくことが、いかに安心、安全、快適であったかということが、建築で体现されています。琉球民家に体现された陰陽の調和が、陰陽鑑定の基準になっています。



Lily's Eyes 新築のゾーニングとインテリアに

陰陽論の最も大きな魅力は、「方向性」を教えてください。地球上のどの環境も、全て太陽の運行から影響を受けています。大地の環境を考える時、そこには、天から与えられた何かしらの前提条件が必ずあります。太陽光が強ければ「陽」、光が穏やかであれば「陰」。これは、人間が勝手に決めることはできものではなく、天によって決められていることです。

では、人間には一体何ができるのでしょうか。それは、大地の上で与えられた環境の中で、自分がなりたい感情になるために、環境を調えることです。明るく活気のある気持ちになりたい空間は、太陽光の恵みをたっぷり受け取れる環境に作る。心穏やかに落ち着いた気持ちになりたい空間は、光穏やかな環境に作る。各部屋の陰陽の性質と、太陽光による陰陽の性質を知ると、それぞれの氣を調和させるためのヒントとなります。

「陰陽鑑定」では、太陽光を基準に住宅を陰と陽のエリアに区別します。北側は「陰の方位」。日当たりが弱く落ちていて静かな方位でありプライベート空間に適しています。南側は「陽の方位」。日光に恵まれ明るく、にぎやかで活動的な

方位でありパブリックの空間に適しています。

しかし、現代の住宅は、家の向きも様々です。必ずしも南側にパブリック空間がくることが最良とは限りません。玄関やLDを南側に作れないなら、光がたくさん入るよう開口部を大きく取り陽の氣を補う。南側に寝室が来たら、壁紙やカーテンを暗めの落ち着いた色にして陰を補う。陰陽論は、与えられた環境の中で、どちらの方向へ向かえばいいのかを常に教えてくれます。

陰陽論は家づくりの様々なステージで活用できます。特に有用なシーンは、ゼロから1の図面を描く時の住宅のゾーニングです。住み心地の良い家を作る最強のテクニックです。そして、心地よく美しいインテリアをデザインする時も、威力を発揮します。見た目がおしゃれなだけでなく、心地よさまで追求したい方におすすめです。

宇宙の本質

...

Yin-Yan

2-2 【陰陽鑑定】 陰陽の分類

暮らし・建築の陰陽

空間性質の陰陽

【暮らし】

感情の陰陽

陰		陽
【プライベート空間】 個人的・静かに過ごす 寝室/書斎/水回り	性質 空間	【パブリック空間】 人が集まる・賑やか 玄関/LD/客間
陰の方位 家の後側	相性	陽の方位 家の前面
		

陰		陽
【ポジティブ】 落ち着く リラックス 研ぎ澄まされる 安定	+感情	【ポジティブ】 元気になる 楽しい 豊かになる チャレンジ
【ネガティブ】 寂しい 寒々しい 陰気 ごちゃごちゃ	-感情	【ネガティブ】 うるさい 暑苦しい 慌ただしい 抜けてる

建物の陰陽

【建築】

空間構造の陰陽

陰		陽
北西・北・北東 家の後側 家の白虎側(右) 2階 プライベート空間	方位 前後 左右 フロア 相性	南東・南・南西 家の前面 家の青龍側(左) 1階 パブリック空間
		
北側で光穏やか		南側で明るい

陰		陽
窓がない・小さい 暗い 低い 狭い 閉鎖的 壁・床・天井	自然光 照明 構造	窓が大きい 明るい 高い 広い 開放的 出入り口
		
天井		出入り口

陰陽の分類の考え方

住環境の陰陽は、1) 暮らし、2) 建築、3) インテリアの3種類。琉球風水の特徴は、毎日の暮らしで得たい「感情」が主役。感情と調和するよう、建築とインテリアの陰陽を合わせます。陰と陽、それぞれにポジティブとネガティブの面を持っています。ポジティブな陰とネガティブな陰、ポジティブな陽とネガティブな陽があります。ネガティブな要素があればポジティブな要素で補います。

インテリアの陰陽

色の陰陽

【デザイン性】

柄の陰陽

陰		陽
寒色系 暗い色 くすんだ色 薄い色 青、緑、紫、黒	寒暖 明暗 彩度 濃淡	暖色系 明るい色 鮮やかな色 濃い色 赤、橙、黄、ピンク
		
寒色・くすんだ色		暖色・濃い色

陰		陽
小さい柄 地味 シンプル 無地・地模様	大きさ 印象 色使い	大きい柄 派手 華やか カラフル
		
無地、シンプル		大きめ、華やか

感触の陰陽

【氣の流れの速さ】 (陰：緩やか/陽：速い)

材質の陰陽

陰		陽
柔らかい ツヤがない ガラガラ デコボコ ふわふわ しっとり	感触	硬い 光沢がある ツルツル スベスベ カッチリ テカテカ
		
ガラガラ		ツルツル

陰		陽
自然素材 【有機的】 (植物繊維・竹・籐・ラタン・漆喰など)	素材	人工的な素材 【無機的】 (ステンレス・金属・ビニール・樹脂など)
自然に近い木材	木	硬く磨かれた木材
素焼きタイル	石材	大理石・御影石
すりガラス	ガラス	クリアガラス
布(綿・シルク)	張地	革・合成皮革

Public Space

2-3【陰陽鑑定】陽の空間



パブリック空間は南側・前面に

住まいのパブリック空間は玄関、リビング、ダイニングや客間です。明るく、活気のあるエネルギーを必要とします。太陽の光がたっぷり入る南側の陽の方位と相性が良いです。

間取りの配置では、パブリック空間が家の前方にあると、暮らし心地の良い家になります。お客様が来た時、玄関から入って、寝室や水周り空間の前を通過せずにLDに入ることができると安心です。家族のプライベートが守られるからです。プライベート空間とパブリック空間を、きれいに2つに分けてゾーニングすることは、住み心地を良くするためのポイントです。

パブリック空間の中でも、リビングについて考えてみます。リビングは、家族が集まって愛情を育む場所であり、くつろぐ場所でもあります。また、来客の際には、お客様をもてなし、お茶を飲みながら会話を楽しむ空間です。人が集まり、動きがある空間で、陽の性質をもっています。

パブリック空間は陽の気を必要とするので、陽の比率を高くしてインテリアをデザインします。陽7：陰3くらいを目安に。陰陽論を使うと、空間と方位の相性が良くても悪くても、心地よいインテリアをデザインするための方向性を出すことができます。



パブリック空間の整え方

陽の方位（南側）にある場合

気が調和しています。光が十分に入っている場合には、明るさや活気を維持しながら、穏やかに陰の気も取り入れます。バランスのとれた落ち着いた空間になります。淡くてやさしい色使いや、暖色と寒色の中のグリーンなどは、穏やかに陰を補ってくれます。

陽の気を強めすぎると、暑く感じたり、落ち着かない空間になります。赤や強いオレンジ、原色などは、陽が強くなりすぎるのでポイント使いで。季節に合わせ、クッションなどのアクセントで陰陽バランスをとるのもおすすめです。

陽の方位にあっても、窓がないなど、光が充分に入らない環境では、照明を明るくし、インテリアにも明るい色を選び、陽の気を補います。



陰の方位（北側）にある場合

気が調和していません。陽の気を意識してプラスします。開口部が大きく光が入っている場合は、陽の気が補われています。光の入り方の状況を見ながら、必要であれば照明も明るくします。

壁紙や床など、その部屋の大部分をしめるベースカラーに、白系や明るい色を使うのがポイントです。広範囲に黒、グレー、ネイビーなどの暗い色を使うと陰気をさらに強めます。「なぜか寂しい気持ちになる」「元気が出ない」などのネガティブな感情を引き起こす原因になります。

色味では、ベージュやオレンジなどの温かみのある色で陽の気をプラスします。華やかで大きな柄を入れると、陽の気が補われます。明るく活気のある空間になるよう意識して環境を整えます。



Private Space

2-4【陰陽鑑定】陰の空間



プライベート空間は北側・奥側に

プライベート空間は、水周り、寝室、勉強部屋、書斎、収納庫など。人の活動が静かで、心穏やかに過ごしたい空間です。光穏やかな北側の陰の方位にあると相性がよく、気が調和します。トイレや洗面所は、来客時にお客様が使用するパブリック性もあります。パブリック空間とプライベート空間の接点に近い所や、半陰半陽方位に置く使い勝手がよくなります。

間取り配置では、プライベート空間が家の奥側にあると、暮らし心地の良い家になります。人の出入りが多い玄関の近くに、トイレや浴室、寝室があれば、落ち着いて過ごすことができません。

水回りは、プライベート性が高いことに加え、空間的な狭さや水の気が強いことでも陰の気を持っています。窓も小さいか、窓がない場合もあり暗いことが多いです。その他のプライベート空間である寝室やキッチンと比べると、より陰性の高い空間です。狭くて暗い空間は色使いにご注意を。暗い空間では濃い色の場合黒っぽく見える性質がありますので、淡い色がおすすめです。

プライベート空間の陰陽の比率は、5：5を目安に。狭い空間は、すでに陰が強いため穏やかに陽を補って。寝室は太陽光の強さや窓の大きさに配慮し、インテリアで足りない気を補います。

プライベート空間の整え方

陰の方位（北側）にある場合

気が調和しています。陰の気を程よく維持して、落ち着きのある穏やかなインテリアに。陰気になりすぎないようにご注意ください。明るい色や、温かみのある色使いなどで、適度に陽の気も取り入れバランスをとります。

暗すぎたり、湿気がこもるなど、陰気が強くなると気が滞ります。特に、水回りは換気、乾燥を意識して、気が重くならないように。清潔でさわやかな空気でも悪い陰の気を発生を防ぎます。

黒やグレーなどの陰の強い色を、広範囲に使うと陰性が強くなりすぎます。淡い色使いは、陰の穏やかさを程よく維持します。

窓がない、暗いなど陰の強い空間は、ベアスカラーに白系や明るい色を使い、陽の気を補います。冬場の冷えが気になるようなら、ピンクや黄色など、温かみのある色で陽の気を補います。



陽の方位（南側）にある場合

気が調和していません。陰の気が不足しています。意識的に陰を補うことで、バランスを整えます。黒やグレーなどの強い陰の色を広範囲に使うと、陰気が強くなりすぎます。ブルーやグリーンなどのやさしい寒色系や淡い色で、穏やかに陰を補うとバランスがとりやすいです。寒さ強く感じる青は、陽の季節の夏に使うか、ポイント使いに抑えておくと良いでしょう。

トイレや洗面所などの水回りは、タオルやマットなどのファブリックなど、ちょっとした小物の色を意識すると、不足している気を補うことができます。

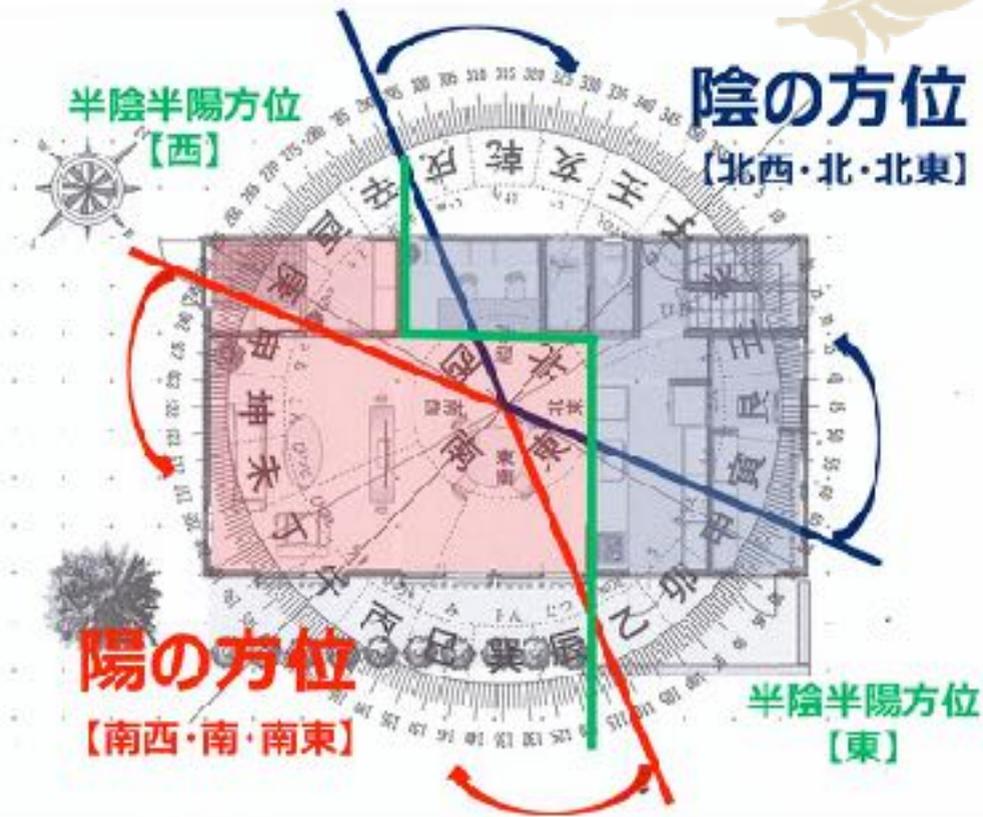
寝室に南から強く光が当たる場合、陽の気が強く落ち着かないかもしれません。マゼンタピンクや赤などの強い暖色はご注意ください。冬は体を温めてくれるかもしれませんが、夏は陽の気が強すぎることもあるかもしれません。

インテリアのアクセントに、華やかさをプラスすることは、良い意味で陽をプラスします。暖色、寒色の強い色は、壁紙やカーテンには使わず、季節で変化を楽しめるファブリックなどでポイント的に使うのがおすすめです。



Appraisalment

2-5【陰陽鑑定】実践



暮らしの中での「感情」が主役

陰陽鑑定の目的は、それぞれの空間で「得たい感情」が得られるよう、建築的視点とインテリア的視点で調和をとることです。まずはじめに、陰陽鑑定図面を作ります。図面のプライベート空間とパブリック空間を寒色と暖色で色分けし、陰陽方位を書き入れます。

右に、既存住宅の陰陽鑑定体験シートを準備しました。空間の機能に対し、相性の良い「方位」と「配置」があるので確認します。次に、全体的なプライベート空間とパブリック空間のゾーニングの状況を確認します。きれいに二つに分かれているか、飛び石のように入り組んでいるかをバー

ドビューで見えます。

陰陽バランスミキサーを使った陰陽分析の手法は、陰陽論を住宅の鑑定用に発展させたものです。スクールの受講生に陰陽鑑定の指導をする際、私が頭の中で行っていることを「見える化」するために作りました。「暮らし」のつまみを基準に、「建築」つまみと「インテリア」つまみを左から順に上下に動かして、言葉にして下さい。それが、陰陽鑑定の現状分析の内容になります。

現状分析で、暮らしの中で起きている不調和の原因がわかり、空間の課題が明確になります。改善の方向性を陰陽の視点から考えてみましょう。

Worksheet 陰陽鑑定体験【既存住宅の現状分析用】

①空間と方位の相性

【パブリック空間】

- 陽の方位（南東・南・南西） 相性よし
- 陰の方位（北西・北・北東） 相性悪い
- 半陰方位（東・西） 問題なし

【プライベート空間】

- 陽の方位（南東・南・南西） 相性悪い
- 陰の方位（北西・北・北東） 相性よし
- 半陰方位（東・西） 問題なし

②空間と配置の相性

【パブリック空間】

- 家の前面にある 相性よし
- 家の後面にある 相性悪い

【プライベート空間】

- 家の後面にある 相性よし
- 家の前面にある 相性悪い

③プライベート空間とパブリック空間のゾーニングの状況

- きれいに二つに分かれている
- 飛び石のように入り組んでいる

④陰陽バランス分析

左から順に陰陽バランスミキサーつまみを上下に動かします。主役は「暮らし」です。得たい感情を軸に、「建築」「インテリア」の陰陽の状況を確認します。バランスが崩れている原因が見つかります。

空間	感情		方位	窓	自然光	照明	配置	構造	—色—	柄	—感触—		
パ	陽	↑陽	南	大	明	明	前	広	明	暖	華	ツル	堅
プ	陰	↓陰	北	小	暗	暗	後	狭	暗	寒	地	ザラ	柔
●暮らし●			●建築●						●インテリアデザイン性●		●インテリア気の流れ●		

⑤住み心地の良さ、暮らしの中の感情から陰陽バランスの突出した課題を書き出す

現在の陰陽バランスで、住み心地はいかがですか？それぞれの空間で、得たい感情は得られていますか？

⑥改善の方向性を出す

心地よい空間にするため、リフォームや模様替えて改善できそうなことは何でしょうか？○ページの「陰陽の分類」を参考に、空間を整える目的と、必要な改善の方向性を考えましょう。

Fortune

3-1【個別運勢方位鑑定】考え方

それぞれの吉方位で幸運を招く

方位（間取り配置）



方位は「面」で捉えます。上から平面図をバードビューで見る、水平レベルの2次元的世界です。

向き（座る向き・枕の向き）



向きは「線」で捉えます。前を向いて正しい姿勢で立った時に視線の向かう方向で、縦軸で見る3次元的世界です。

ここからは、「方位鑑定」の解説に入ります。方位鑑定は、形勢が良いことを前提に看るものです。形勢が良くない環境で、いくら方位鑑定で吉方位を合わせても意味がありません。

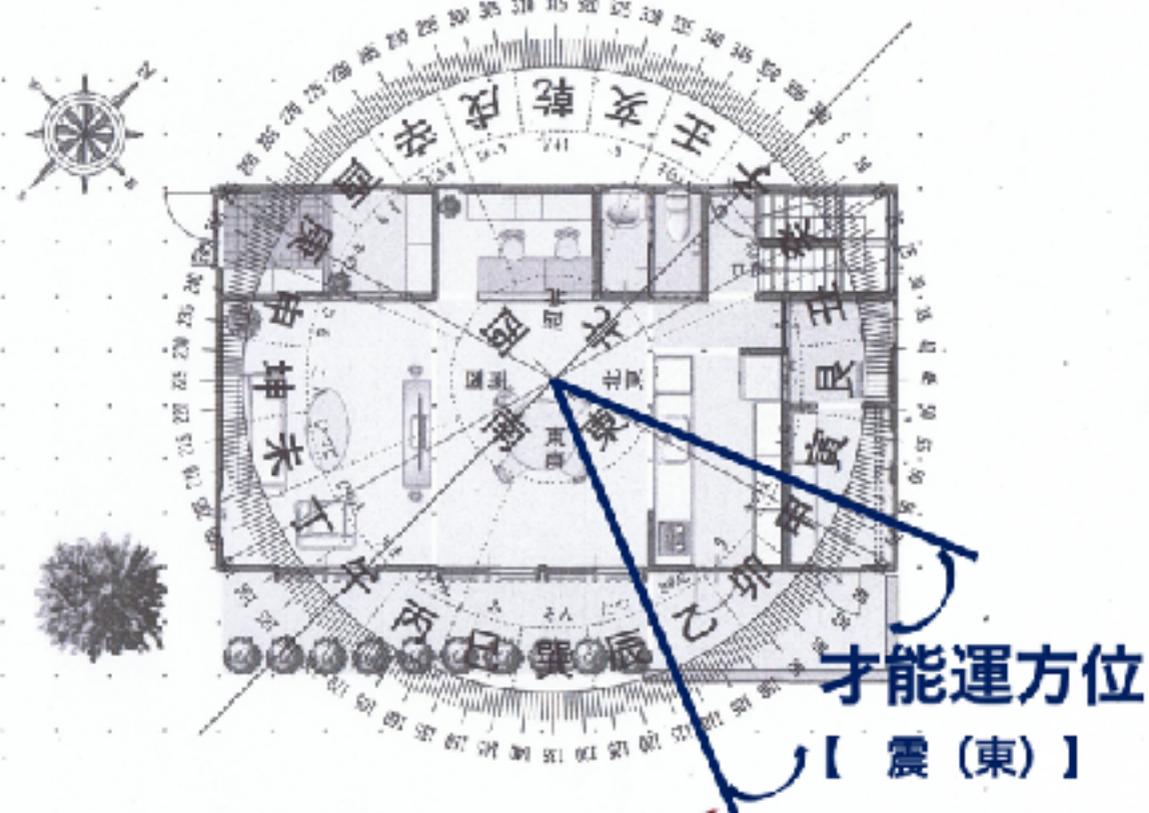
風水鑑定を行う時は、複数の鑑定法を使います。鑑定結果の優先順位を間違えると、せっかく風水を看ても役に立ちません。個別運勢方位は、形勢法より優先順位が低く、形勢法を無視して個別運勢方位にこだわると住み心地が悪くなります。各鑑定法にはそれぞれ特徴と役割があります。個別運勢方位鑑定は、その人にとっての吉方位がわかる鑑定法です。

とられるな！でも積極的に♡

吉方位を見る時は「方位」と「向き」の2つの見方から判断します。「方位」とは、住宅の図面に羅盤を当て、ピザを均等にカットするように45度づつ8区画に分けた時、部屋が配置されている方位の区画のこと。「向き」とは、寝る場合は枕を向ける方向、座る場合は前を向く方向です。床の上に立ち、立体的に見える世界です。

学校の科目に例えると、氣の流れの鑑定が「美術」だとしたら、個別運勢方位鑑定は「数学」です。形勢法は右脳優勢型で大きな直感力を必要とするのに対し、方位鑑定は左脳優勢型の性質を持っています。方位鑑定は一見、法則が多く複雑に見えますが、科学的に答えを導き出せます。実際の鑑定を行う時は、氣の流れを見るより方位鑑定のほうが簡単です。

ただし、使い方には慣れが必要です。吉方位があれば凶方位もあります。家族全員が完璧に吉方位だけで暮らすというのは不可能です。玄関や寝室などの重要な空間にフォーカスし、とられ過ぎず、でも積極的に吉方位を生かして下さい。



台湾 金瓜石勸濟堂

Lily's Eyes . . .

琉球王国の最後の王、第19代尚泰王の時代（19世紀後半）に活躍した風水師、鄭良佐（ていりょうさ）。王位を継承する世子の住まい「中城御殿」の移転建設と、王族の墓「玉陵」の修繕のため、1866年に王命により福建へ風水留学。風水界のエース的存在でした。

鄭は1863年～1866年までの間、八重山のほぼ全域にわたり、大規模な風水見分を行いました。「北木山風水記」と題する風水鑑定報告書を残しています。石垣島、西表島、竹富島など八重山諸島の47集落と家屋の風水を看ています。

鄭が使用した風水鑑定の手法は、都築晶子氏の研究により明らかにされています（町田,都築 1993）。形勢法と方位鑑定の両方を使い、風水判断を行いました。方位鑑定は、間取りの配置を「八宅法」「九宮法」「三元氣運」で見て、排水の方位を「十二宮方位」で看ました。「八宅法」は、清代によく使われた鑑定法の一つ。今もアジア圏で使用されています。三元氣運は、現代では「フライングスター」と呼ばれ、時間の運行に伴う運氣の変化を見る鑑定法です。

これだけの高度な風水術を使って風水判断がで

きるまで、相当なトレーニングを積んだことが想像できます。方位鑑定を実際に行ってみると、同じ家であっても、八宅法では南が吉、九宮法では南が凶になるようなことが頻繁に起きます。難しいのは、形勢法と複数の方位鑑定の全ての結果を踏まえ、何をどうするか「決める」こと。鑑定法の性質をよく理解し、目的によって使い分けられることができれば、総合的な風水判断ができます。

「八宅法」にも、家の向きから吉凶の方位を看る「宅卦」と、個人の生年月日から吉凶の方位を看る「命卦」の2つがあります。本書で紹介する「個別運勢方位鑑定」は、八宅法の命卦。スクールの受講生に人気のある鑑定法です。方位鑑定に興味を持たれた方は、巻末の用語解説と参考文献から、さらに知識を深めていってくださいね。

宇宙の本質

. . .

Your Gua

3-2 【個別運勢方位鑑定】 運勢

生まれながらに持っている運

風水鑑定には、全ての人に共通する鑑定もあれば、人が生まれながらにもっている運から見る鑑定もあります。人は生まれた時の天体配置から影響を受けています。個別運勢方位の本命卦は個人の生年月日から、命掛数の計算式によって算出します。命掛数は1～8まであり、東四命か西四命のどちらかに分類されます。本命卦ごとに、吉の四方位と凶の四方位があります。

本命卦の計算式を以下に記載します。同じ生年月日であっても、男性と女性では本命卦が異なります。また、1月1日～節分までの生まれは、前年の西暦で計算します。以下の計算式を使い、あなたの本命卦を算出し、右の早見表で吉方位を確認して下さい。

本命卦の求め方 (月/日から節分までの生まれは前年で算出)

【男性】

- 1) 生まれ年の西暦年号を単数（一桁）で足す
- 2) 結果が10を上回ったら十の位と一の位をたす
- 3) たし合わせた数を11から引き算する

※本命卦が5の場合は2

【女性】

- 1) 生まれ年の西暦年号を単数（一桁）で足す
- 2) 結果が10を上回ったら十の位と一の位をたす
- 3) たし合わせた数に4をプラスする
- 4) 足し算の数が10を超えたら、9を引く

※本命卦が5の場合は8

方位の意味

【吉方位】

生氣（せいぎ）＝最大吉方位。繁栄を呼び込み財運を上げる。生命力を高め、創造性を発揮。

天医（てんい）＝天の医者。健康運を高める。身体と精神の疲れを癒やす。病人に特に良い。

延年（えいねん）＝長寿と子孫の繁栄。愛情運、結婚運、子宝運など家庭運。人間関係運。

伏位（ふくい）＝安らぎと調和。全般的な幸福、平安、大きな発展はなくとも安定する。

【凶方位】

禍害（ががい）＝予期せぬ災難や被害、仕事での失敗、喪失。不安定、消極的、慢性疲労。

六殺（ろくさつ）＝自分と家族の災い。チャンスを失う、わがまま、イライラ、試験に弱い。

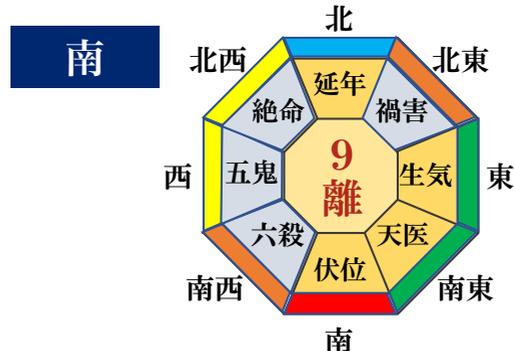
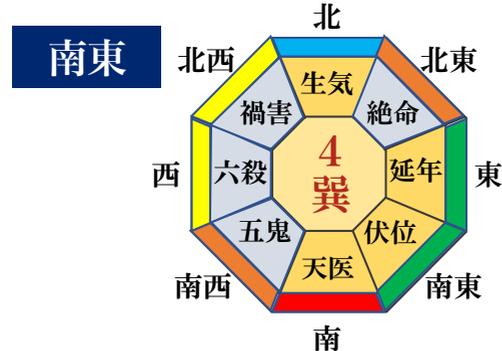
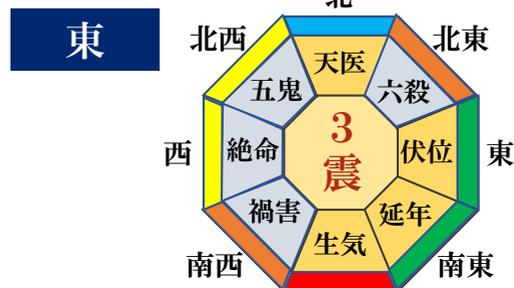
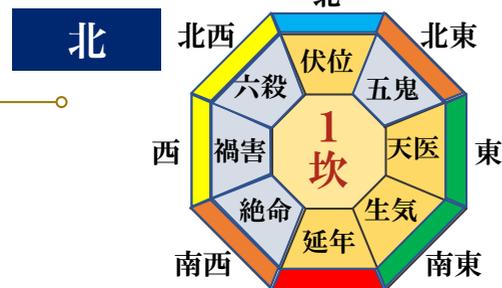
五鬼（ごぎ）＝火災、盗難、収入減、失業。喧嘩や誤解。無気力。仏壇には適している。

絶命（ぜつめい）＝法定紛争、経済的損失、困難、挫折。病気の悪化、経営状況の悪化。

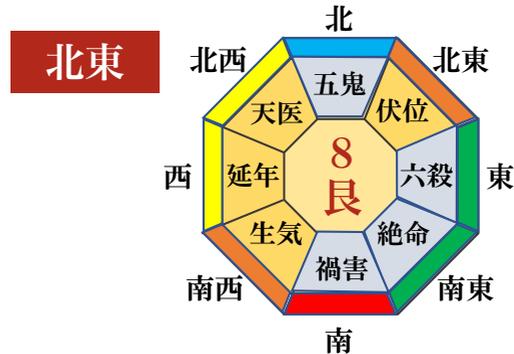
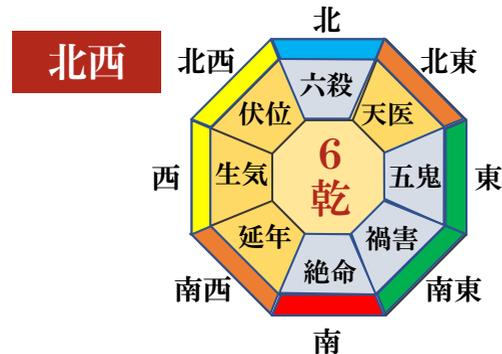
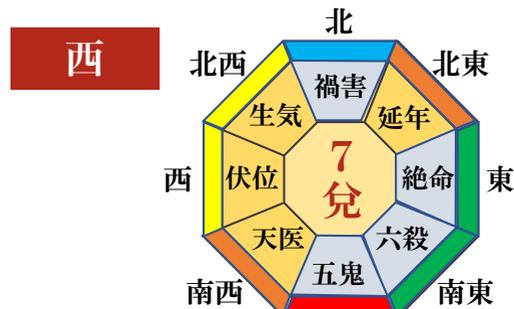
大吉 ↑
小吉

小凶 ↓
大凶

方位早見表 東四命（水・木・火）

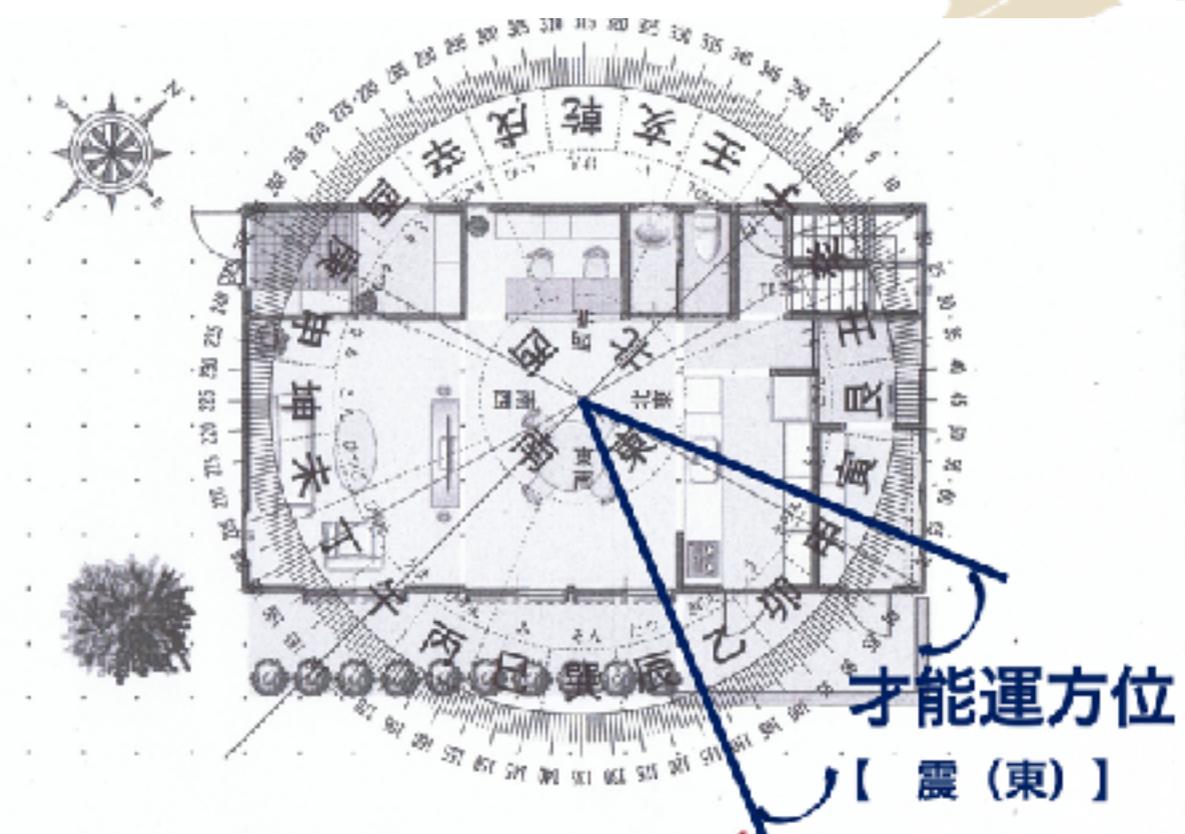


方位早見表 西四命（土・金）



Appraisalment

3-3 【個別運勢方位鑑定】実践



新築で部屋の配置を決める時に

個別運勢方位の間取り設計への生かし方には、基本があります。吉方位に玄関、LD、寝室、書斎など長い時間を過ごす部屋を配置するのが理想です。吉方位は氣を増幅する効果があります。ただし、良い氣も悪い氣も増幅するので、氣の質を良くすることが吉運を得るポイントです。

一方、凶方位は、水回りや納戸が良しとされています。凶方位は氣を流し出すエネルギーが働くので、水を流す場所が適しています。吉方位に、水回りが来ると、せっかく生じた良い氣が流れ出てしまうと考えます。

しかし、方位鑑定の結果に基づいて、完璧な理

想の間取りにするのはほぼ不可能です。家族で本命卦が異なれば、吉方位は真逆にもなります。吉方位にはそれぞれ意味があります。住宅設計に鑑定結果を取り入れる時は、優先的に得たい運氣と重要な空間を合わせます。

重要な空間の優先順位は、玄関、寝室、書斎、トイレ。空間の方位と、玄関ドアの向き、個人の枕の向き、座る向きを最適な方位に合わせます。子ども部屋の配置を決めるのにも鑑定結果が役立ちます。家族で吉凶方位が異なる場合、一家の主人の方位を優先します。玄関を主人の吉方位に、トイレを主人の凶方位に配置します。

Worksheet 個別運勢方位鑑定【全段階共通】

① 生年（西暦）の単数（一桁）を足し合わせる（例：1+9+7+0=17）

② ①の数字が10を超えた場合、足し合わせる（例：1+7=8）

③ 男性は、11から①又は②の一桁の数字を引いたものが本命卦【本命卦が5の場合は2】
（例：11-8=3 →本命卦は震）

④ 女性の本命卦は、①又は②に4を足す。足した数が10を超えたら9を引く
【本命卦が5の場合は8】（例：8+4=12, 1+2=3 →本命卦は震）

⑤ 家族の本命卦を下の欄に書き、図面にも書き込みましょう

⑦ 図面を見て現状をまとめる

⑧ 突出した課題を書き出す

⑨ 改善の方向性を出す

Five Phases

4-1 【八方位鑑定】五行の考え方



調和をとるための自然界の法則

風水の基本概念の「五行」とは、四季の移ろいを観察して抽象化した、自然界の原理原則です。宇宙の万物は「木・火・土・金・水」の五つの元素に分類されます。互いに影響を与え合い循環することで、宇宙が成り立っていると考えます。

「木」は春、「火」は夏、「金」は秋、「水」は冬、「土」は季節の変わり目を象徴しています。それぞれの元素に、時間、方角、色、味覚、感情など、あらゆるものが当てはめられています。

五行にはそれぞれ性質があり、互いに関連性があります。風水では、五行の相関関係が周辺のエネルギーの吉凶を決めると考えます。相手を生み

だす良い関係を「相生」といいます。「木」は「火」を生み、「火」は「土」を生み、「土」は「金」を生み、「金」は「水」を生みます。相手を減らす悪い関係を「相剋」といいます。「木」は「土」の養分を奪い、「火」は「金」を溶かし、「土」は「水」を淀ませ、「金」は「木」を切り倒し、「水」は「火」を弱めます。

同じ気が重なり気が強められることを「比和」といいます。気の質が良い状態であればさらに良くなり、気の質が悪い状態であれば悪化します。五行が調和すると幸福がもたらされ、五行が衝突するとネガティブなエネルギーが生じます。



五行の象意（一覧）

五行の象意と「比和」「相生」「相剋」の相互作用を表にまとめました。五行の相関関係から基本的な使い方があります。方位を支配している五行の元素に対し、同じ元素（比和）、又は、生み出す元素（相生）をあわせます。一方で、破壊する元素（相剋）を避けます。質の悪い気があれば、悪い気を避けたり、気の質を良くします。

琉球王朝時代、八方位の運勢鑑定はありませんでしたが、山の形や川のラインを五行で見ています。特に、悪い「火」は恐れられました。火形の尖った山が集落の前にあると火災が起きると言われ、火除けの石獅子を集落の入口に置きました。

沖縄のシーサーの起源です。北部に流れる羽地大川の洪水問題は、川の形状を五行の形で判断し、五行が調和するよう川のラインを改修しました。

現代住宅も五行の考え方で調和を取ることができます。例えば、東を支配する元素は「木」。東に観葉植物を置くと、比和により「木」の気を強めます。流線型の「水」の気は、相生により「木」の気を活性化します。一方、金属は「金」の気であるため相剋。「木」の気を破壊します。ただし、決まりにとらわれすぎないように。使い方に迷った時は、自然界を観察して下さい。自然界で調和していれば住宅でも同じように調和します。

五行	木	火	土	金	水
季節	春	夏	季節の変わり目	秋	冬
時間	5時～11時	11時～13時	1時～5時 13時～17時	17時～23時	23時～1時
方角	東	南	中央	西	北
色	緑	赤	黄	白	黒
味覚	酸味	苦味	甘味	辛味	塩味
感情	怒	喜	思	憂	恐
臓器	肝	心	脾	肺	腎
維持する (比和)	木	火	土	金	水
気を強める (相生)	水	木	火	土	金
気を破壊する (相剋)	金	水	木	火	土

Ba Gua

4-2 【八方位鑑定】 八方位の考え方



「時間」と「空間」に心を傾ける

八方位それぞれには「象意」があり、そこに宿る「運氣」があります。各方位は、五行、時間、季節と深い関連があります。方位という空間に対し、時間が当てはめられています。アナログ時計の文字盤や季節と重ね合わせてみると、方位の象意と時間軸が見えてきます。

24時間で一回りする時計をイメージして下さい。北は真夜中の0時で、季節は冬。南はお昼の12時で、季節は夏。向かって右側は午前中の上昇する太陽のエネルギーを受ける方位。冬から夏へと暖かくなる季節。左側は、午後の上昇する太陽のエネルギーを受ける方位。夏から冬へと寒くなる

る季節です。八方位の氣は、結びついている時間、季節に最も活性化します。自然界は、1日単位、1年単位で循環を繰り返します。同じように、人の人生で起きる出来事も自然界の法則に従うように循環しています。

八方位鑑定は、住まいをデザインする上で、優先順位の低い鑑定法です。運氣に関連した色や形など、表面だけに風水を取り入れると、デザイン的な不調和が生まれます。しかし、五行と八卦を自分の哲学にできれば、それは、人生の大きな収穫です。運勢を意識したインテリアのイメージも、自然と浮かび上がってくるようになります。

八方位の象意 (一覧)

八方位	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西
五行	水	土	木	木	火	土	金	金
八卦	坎 (かん)	艮 (ごん)	震 (しん)	巽 (そん)	離 (り)	坤 (こん)	兌 (だ)	乾 (けん)
象意	水	山	雷	風	火	地	沢・湖	天
季節	冬 12月	初春 1月2月	春 3月	初夏 4月5月	夏 6月	初秋 7月8月	秋 9月	晩秋 10月11月
時間	0時 真夜中	1時 ～5時	5時 ～7時	7時 ～11時	12時 正午	13時 ～17時	17時 ～19時	19時 ～23時
相性の良い色	白 水色 ピンク	白 赤 茶色	青 緑 赤	青 緑 オレンジ	緑 赤 オレンジ 紫 ベージュ	赤 黄色 茶色 ベージュ	ベージュ 白 黄色 ピンク 金	ベージュ クリーム 薄紫 銀
形	波形 曲線	平ら 四角形 山のように背の高いもの	高い 長方形 上に伸びる形状のもの	高い 長方形	先が細く尖る 三角形 上昇するもの	平ら 四角形 低いもの	アーチ型 円形	アーチ型 円形
運勢	職業運 住居運	知識運 親子運	希望運 健康運 出会い運	才能運 仕事運 財運	名声運 人気運 美の運	結婚運 家庭運 子宝運 人間関係	恋愛運 金運 子どもの 幸せ運	援助運 出世運

Ba Gua

4-3 【八方位鑑定】実践



ワクワク感のあるインテリアに

風水空間デザインでは、八方位鑑定をインテリアをデザインする時に活用します。新築注文住宅の設計で八方位鑑定を行うタイミングは、基本設計図の作成で、納得いく間取りが出来上がった後です。基本設計が終わると、すぐに内装の仕様を決める実施設計に入ります。インテリアデザインは時間がかかるので、余裕をもってプランを考えておくと安心です。

八方位鑑定図面の作成は、丸いピザを均等に分けるように、住宅を8つの区画に分けます。琉球風水は、インテリアスタイルと調和するように、陰陽鑑定と八方位鑑定を使って、インテリアをデ

ザインします。美しく仕上がることを第一に考え、テーマカラーは各インテリアスタイルのカラーパレットを尊重します。スタイルの特徴を踏まえた上で、空間で得たい感情に合わせ、陰陽バランスが整う色の方向性を決めます。

インテリアスタイルと陰陽鑑定の結果を優先した上で、八方位鑑定を使います。複数の考え方を組み合わせてデザインする時、優先順位を間違えないことが大切です。八方位鑑定の優先順位は1番最後です。しかし、この八方位が入ると、美しく心地よい上に、ワクワク感のあるインテリアができあがります。

Worksheet 八方位鑑定【全段階共通】

八方位の象意に合わせて、色や素材、モチーフを選ぶ時は、五行の「比和」「相生」「相剋」の考え方を使います。鑑定内容の活かし方は、1) 部屋のもつ運気を部屋のコンセプトとして設定する、2) 相性の良い色をテーマカラーにする、3) スパイスとしてアクセントに使うことです。

◆玄関

方位	八方位の運氣	八方位の色	比和の五行/その色や形	相生の五行/その色や形

◆LD

方位	八方位の運氣	八方位の色	比和の五行/その色や形	相生の五行/その色や形

◆キッチン

方位	八方位の運氣	八方位の色	比和の五行/その色や形	相生の五行/その色や形

◆洗面所

方位	八方位の運氣	八方位の色	比和の五行/その色や形	相生の五行/その色や形

◆浴室

方位	八方位の運氣	八方位の色	比和の五行/その色や形	相生の五行/その色や形

◆トイレ

方位	八方位の運氣	八方位の色	比和の五行/その色や形	相生の五行/その色や形

◆寝室

方位	八方位の運氣	八方位の色	比和の五行/その色や形	相生の五行/その色や形

◆書斎

方位	八方位の運氣	八方位の色	比和の五行/その色や形	相生の五行/その色や形

◆子ども部屋

方位	八方位の運氣	八方位の色	比和の五行/その色や形	相生の五行/その色や形

【参考】方位鑑定図面の作り方



中心は「太極」 建物の重心点

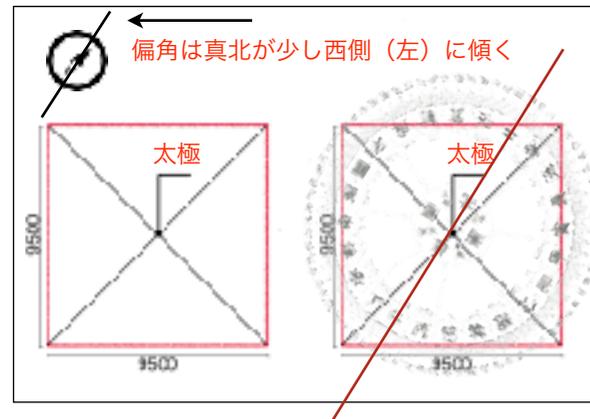
方位鑑定は図面に方位盤を当て、各部屋の方位を確認します。中心を「太極」と言います。太極とは気が集まってくる所で、建物の「重心」。重さの均衡が取れる点です。1階と2階で空間の大きさが違う場合、各階で重心を取ります。変形した住宅の場合、重心の取り方は複雑です。太極を決める簡易的な方法は、右の図で解説します。

建築図面の方位は「真北」、磁石の示す方位は「磁北」です。真北は太陽光が基準で、磁北は地球の地磁気の極が基準で方位磁石の示す北です。住宅の方位鑑定は「磁北」を使うのが基本です。た。真北と磁北にはズレがあり、これを「偏角」

と言います。偏角は地域によって違います。2022年現在、北半球の偏角は沖縄5度、東京7度、北海道10度ほど西に傾いています。地軸は絶え間なく動いており、300年前は東偏でした。国土地理院Webサイトで最新の偏角を確認して下さい。

自宅の方位は、図面だけでなく、方位磁石も使って確認します。磁石がぐるぐる回ったり、全く動かないような場所は、磁場が狂っています。磁場の悪い場所で、長時間過ごすとは体調に影響がでる可能性があるため確認してください。図面に方位盤がない場合、法務局で地籍図を取るか、簡易的にグーグルアースで方位を確認して下さい。

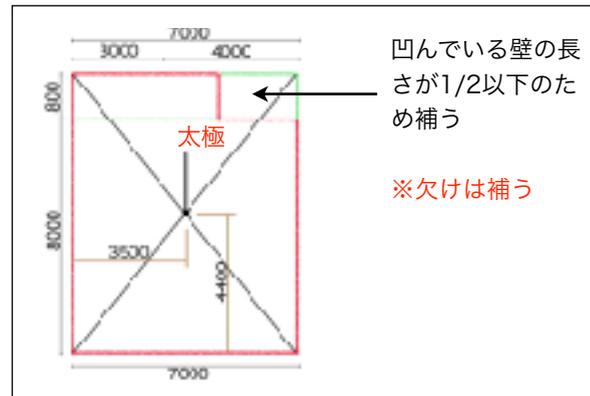
太極の取り方と羅盤の当て方の基本



太極は対角線の交わるところ

きれいな四角形の住宅は、対角線が交わる点が「太極」です。羅盤を当てる時は、図面の方位盤から偏角の角度分を反時計回りにずらし、南北ラインとります。それを太極へ平行移動させると、太極中心の南北軸が取れます。その南北軸に合わせて透明羅盤を乗せ、羅盤入り図面の完成です。

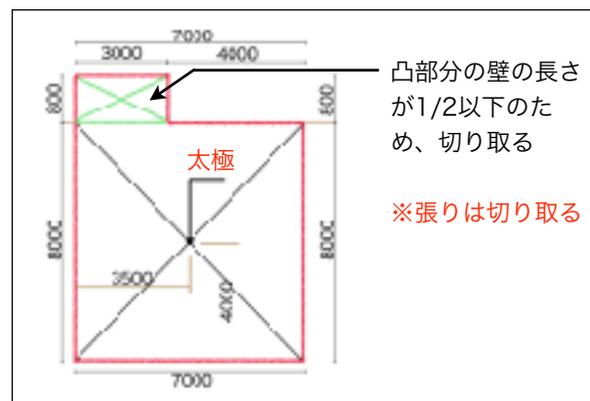
欠けがある場合の太極の取り方



欠けを補う

建物の一辺の壁が凹んでいる長さが2分の1以下の場合「欠けがある」と考えます。欠けがある場合は、その部分を補って、四角形を作ります。きれいな四角形の対角線が交わる場所を「太極」とします。この図の実際の重心点は、左斜め上にズレますが、微妙な誤差のレベルです。

張りがある場合の太極の取り方



張りを切り取る

建物の一辺の壁が飛び出している長さが2分の1以上の場合「張りがある」と考えます。張りがある場合は、その部分を切り取ってきれいな四角形を作ります。四角形の対角線が交わる場所を「太極」とします。この図の実際の重心点は、左斜め上にズレますが、微妙な誤差のレベルです。

【参考】風水と脳科学の深い関係

「幸せ」は科学で証明できる時代

幸福セロトニン住宅



明るく、開放的で、自然を感じるリビングは、脳が「快」の情報を受け取り幸福ホルモンが分泌され、幸せを感じる

不快コルチゾール住宅



鬼角が自分に向かい、前方に圧迫感がある書斎では、脳が「不快」の情報を受け取り、ストレスホルモンが分泌

「嬉しい」「楽しい」といったポジティブな感情になると、脳は『幸福ホルモン』を分泌します。一方、「不安」や「恐怖」などネガティブな感情になると、脳は『ストレスホルモン』を分泌します。「幸せ」や「ストレス」をもたらす脳内ホルモンは意思の力でコントロールできません。

自分を取り巻く「環境」から、どんな「質」の情報を受け取るかで、私たちの「感情」が決まります。環境とは、家や職場などの〈空間〉、関わる〈人〉、メディアから入る〈情報〉など『五感で受け取るもの全て』です。幸せとは環境からもたらされるのです。

ストレス住宅のリスク

脳がストレスを感じる住まいがあります。それは、氣の流れの悪い空間です。毎日の生活の中で脳が「不快」と情報を受け取り、コルチゾールを分泌する日々を送るリスクが出てきます。

「風水に本に書いてあったから」と、方位の吉凶だけで間取りを決めるのはご注意ください。生活動線の快適さを考えずに家を作ると、暮らし心地が悪くなります。一般的な建築でも、氣の流れを考えずに家が建てられることが多々あります。

脳はストレスを受け続けると、疲労します。不安、恐れ、心配により自己肯定感が低下すると、うつ病へと発展するリスクがあります。眠れない、寝ても疲れがとれない状況では、老化が進み、生活習慣病になるリスクもでてきます。

住まいから受けるストレスには注意が必要です。微細なストレスを自覚症状が無いまま、受け続けるからです。脳がストレスホルモンを慢性的に分泌する環境では、心と体の健康が大きく失われていきます。幸せになりたいなら「脳から幸福ホルモンが出る住まい」を目指しましょう。



Lily's Eyes 論理で説明できない再現性の高さ

「風水は非科学でしょうか？」いいえ、風水が生まれた時代には、現代科学に対応するカテゴリーがなかっただけのことです。大学院生時代、リサーチしては疑問が浮かぶ度に、答えを追求していました。真理を突き詰めるプロセスは、まるで宇宙を旅するかの如く、途方もない道のりだったことを記憶しています。学術研究という科学の世界に身を置いたことで、むしろ、科学の限界を知りました。そんな時に会ったのが風水です。

住まいの整え方が陰陽五行で解説され「面白い」と感じました。風水は、理屈をこねくり回せばもっともらしく解説できる一面を持っています。一方で、「理屈では説明できないけど、風水の考え方は宇宙レベルできっと正しい」と感じることもありました。現代科学では解明できないことも、自然界の原理原則から解釈すると、腑に落ちたのです。理論的に左脳で理解する世界と、感覚的に右脳で感じる世界の二面性が魅力でした。

風水を実践し始めると、様々な不思議なことが起こりました。「科学では全く解明できない…」しかし、風水スクールを立ち上げ、私が実践したことを生徒さんにも実践してもらおうと、本当に

同じことが起きるのです。「再現性はあるけど、理由がわからない」というのが最大の疑問でした。「ぎくしゃくしていた家族の仲が良くなる」「自己実現のために会社をやめて起業する」受講生の人生の変化を目の当たりにしながら、その理由がわからない日々が続きました。

「風水の実践で起きることを論理的に言語化したい」「風水術がなぜ変化をもたらすのか理由を知りたい」いつも自分の頭に、この問いをぶつけていました。すると、様々なところにヒントがありました。それは、風水の文献ではなく、脳科学、心理学、環境学、人間工学、哲学、宗教学、文化人類学、そして、コミュニケーション学などの学術分野でした。そう、様々な科学の分野の中にある、人々が安全に快適に暮らすための実践的・機能的な知恵が、風水だったのです。

宇宙の本質

一生学び続けることができる学問に出会う喜びこそ、人生最大のギフト